

南アフリカ 柑橘類とアボカドの輸出が減少の予測

EUROFRUIT 2023年7月19日

新しいデータによると、南アフリカのアボカドと柑橘類の輸出量は前回の見通しよりも減少するだろう

南アフリカ産アボカドの予測輸出量は、出荷シーズンが中間点に差し掛かった時点で約250万箱引き下げられた。

同時に、同国の柑橘類業界は、オレンジ、レモン、マンダリンの輸出量が下方修正され、総輸出量が1億6千万箱を下回ると発表した。南アフリカの柑橘類の輸出量が減少したのは数年ぶりであり、昨年は約1億6,500万箱に達していた。南アフリカの昨年のこの時期までの出荷量は5,880万箱であったが、今年はこれまでに約7,900万箱が梱包され、6,500万箱が出荷された。

サブトロップ社のデレク・ドンキンCEOは、アボカドの予測出荷量は2千万箱から1,750万箱に減少したとした上で、「これまでのところ今の出荷シーズンに満足しているが、ヨーロッパと英国の市場にシーズン半ばの競合品が入荷したため、業界としては出荷量を減らすことを決定した」と述べた。

これまでのところ、アボカドと柑橘類の輸出業者らは今シーズン、出荷シーズンの早い段階で多くの量を出荷している。柑橘類業界は、シーズンの後半は国の北部から大量のオレンジがヨーロッパに出荷されるため、より困難になると予測していた。

これらのオレンジの最初の荷は現在ヨーロッパに向かっており、輸出業者らは厳しくなったEUの新しい植物検疫要件に対応しなければならない。柑橘類生産者協会(CGA)は以前、EUへのオレンジ輸出量は、新しい規制により約20%減少する可能性があることを示していた。

一方、CGAは生産者への通知の中で、北部のいくつかの路線でトラックが攻撃され燃やされた最近の出来事に失望を表明した。CGAの報道担当であるミッチェル・ブルック氏は、分析によると、北部地域から柑橘類を輸送するトラックは週に2,200台あり、東ケープ州にはさらに1,200台、西ケープ州と北ケープ州には1千台のトラックがあると述べた。

CGAは、「港への柑橘類の輸送のピークが近づく中、犯罪者らが我々の主要ルートでトラックに火をつけていることは懸念される」としている。シリル・ラマポーザ大統領はこの問題を「経済的妨害行為」と表現している。

CGAは「人々が恐れることなく道路インフラを使用できるよう、この犯罪の根本原因を特定し、それに対処することが重要である。この経済的妨害行為により、保険料の引き上げ、追加のセキュリティ対策、破壊された機材の交換を通じて、輸送コストが増加する。それらの増加したコストは、輸送された商品の消費者に転嫁される」と付け加えている。

執筆者: フレッド・メンチェス